

母娘物語の朗読 小説から読み解く
親子の確執・支配の心理
～母娘関係を見つめ直す～

2015年10月18日（日）午後2時～4時



フランス女流作家による母娘関係の短編小説を朗読。作品を通して、高齢の母と娘の間にある確執や支配の心理を読み解いていきます。母娘関係専門カウンセラーによる問題背景に関する解説もあります。確執や支配から自分を解放するには、また関係改善のためのヒントなど一緒に考えてみませんか。



会場 リーブラ（港区立男女平等参画センター）2階 学習室A

参加費 無料

定員 30名（先着順・要申込）

対象 港区在住・在勤・在学、またはテーマに関心のある、おおよそ40代以上の方



会場のリーブラは
みなとパーク芝浦 2階です

《住所》港区芝浦 1-16-1
《TEL》03-3456-4149

《最寄駅》

- JR 田町駅 東口（芝浦口）
徒歩 5分
- 都営地下鉄 浅草線・三田線
三田駅 A6出口 徒歩 6分

申込・問い合わせ

よこやま しんこ
横山 真香

（メンタルケア心理士）

090-5206-8576

あてに9月1日（火）より

お申込み下さい。

（Eメールは裏面参照）

今回使用するテキスト

『だからひとりだけって言ったのに』

著書：クレール・カスティヨン（早川書房）

仏女流作家による母娘の短編小説。娘を支配しようとする母親、歳を重ね介護が必要になった母親を疎ましく感じる娘、高齢の母をいまだに恐れ自尊心の低い娘。母娘の間に生じる確執、依存関係。両者の思いの底にあるのは愛情なのか憎悪なのか。この物語に登場する母親、娘は、あなた自身なのかもしれない。

講師プロフィール

横山 真香（メンタルケア心理士）

よこやま しんこ

母娘関係専門のカウンセリングを行っている。娘問題をテーマにした講演会の講師として、またコメンテーターとしてテレビにも出演。

朗読

兼重 崇子

かねしげ たかこ

社会福祉協議会にて視覚障害者への母音声訳活動に従事。朗読ボランティア福祉体験の講師として活動している。

✿ 講座申し込み・お問い合わせ方法 9月1日（火）より先着順

お申込みは 電話 090-5206-8576

メール mami33@mint.ocn.ne.jp

インターネット <http://shinkos.jimdo.com>

上記3つの方法でお受けいたします。

お申込みの際は

- ① 氏名 ②郵便番号・住所 ③電話番号 ④メールアドレス ⑤ 年代
以上を明記の上、お申込み下さい。メールでのお申込みは、受信後こちらから確認のご連絡をさせていただきます。返信がない場合は、お電話にてご連絡下さい。

◎受講申し込み時に記載された住所・お名前・連絡先などの個人情報、受講者名簿作成及び必要な連絡以外には使用致しません。